

比呂さんこんにちわ!!
結曲辰園のサキです。



今回のマンガがでは
いすみの狩猟について
少しだけ描いてみたいと
思っています。

狩猟とは、
キジ・狸・インシシ・熊
などの獣を狩ること
になります。



最近狩猟免許をとって
狩猟者になりました。

ハンター、
啓太郎です。

そして
それを行っ人を
狩猟者といいます。



野生動物を殺すなんて！
と田心うちもいるでしょう。



しかし、こういった野生動物たちは
曲辰家が育てている野菜や
米を食べてしまいます。

曲辰家にとってその水は
生きる糧を取られて
しまうのと一緒。

あの作物はもう
やめるか



少しの被害で諦めは
いいのですが、野生動物
の繁殖力は強く

ほあっておくと被害は益々
大きくなり 農業がでまなく
なる曲辰家もいます。

私たちが住むいすみにも
こうした獣が多く住んで
います。



その一部をご紹介
しましょう☆

キヨソ

ギョー
ギョー



某動物園から逃げた

とされる外来種で、

民家や畑の花や菜々葉を
食べます。

鳴き声は非心鳴にも似た

声を出し、うるさいです。

夜車で道を走っていると3、4頭

は普通に歩いていきます。

畑の作物を食べる獣たち。

民家の屋根裏などに住み
着くため

糞尿やダニなどの
被害も出ます。

クヌキ



ニワトリとかの
鳥の血を

すうよ!

めっちゃ
ダニいるよ!

イタチ



クサイよ!

ハクモリン

天敵

として僕らの一番の

イノシシ!

大きいものは

100kgを超える大きさに
なるよ!怖いよ!
ぞかいよ!



イノシシは畑 田んぼの作物を食い

まわります。イノシシがまわらした後は

まるでシヨベルカーで掘ったような有様になり、

稲は収穫できなほど

なぎ倒されてしまいます。

昔は林業が盛んで山にも人の手が多く入っていたため、獣はもっと山奥で活動していました。

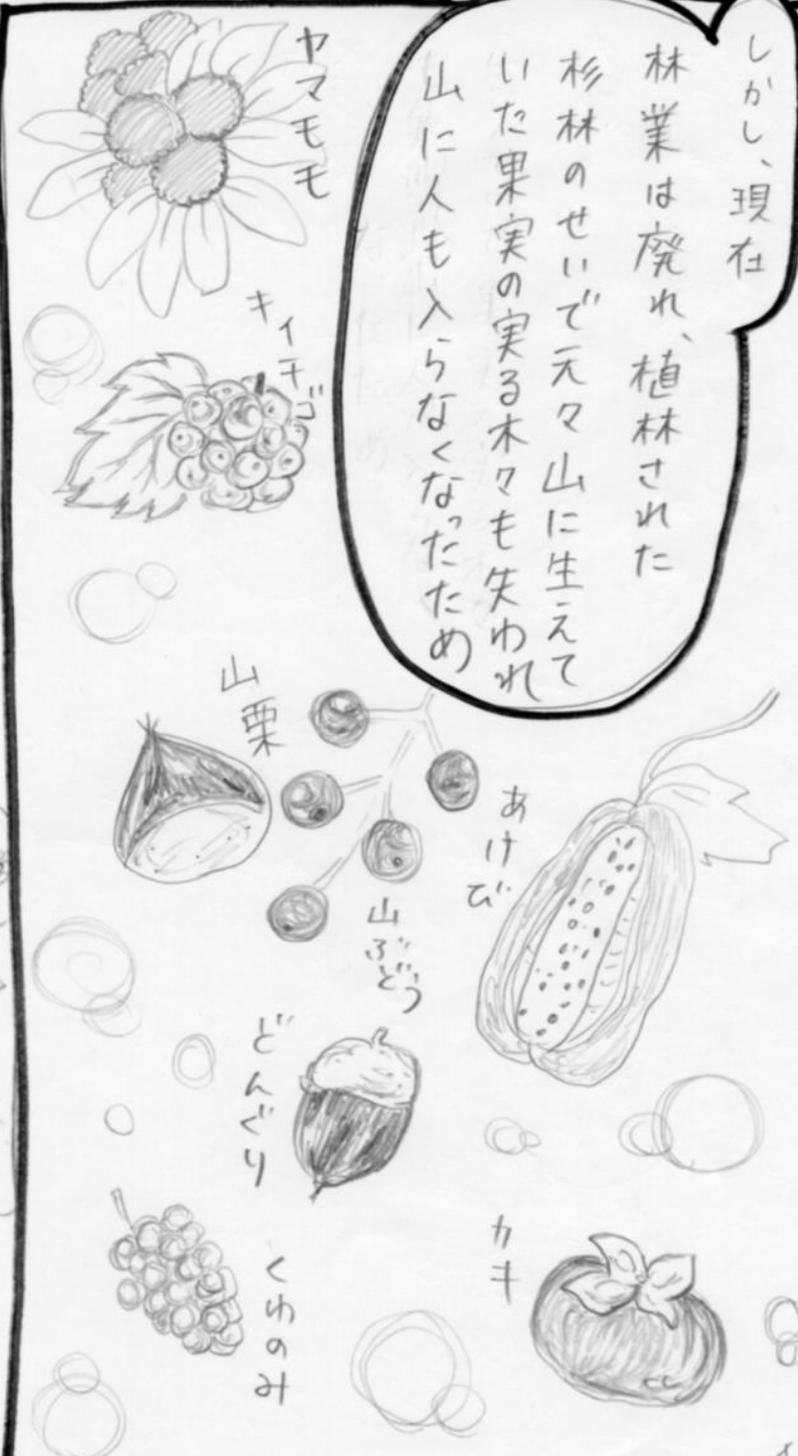
行けない

この木キツルかー

おー

しかし、現在

林業は廃れ、植林された杉林のせいで元々山に生えていた果実の実る木々も矢われ山にも人も入らなくなったため



獣たちは人里の近くまで降りて人間の農作物を狙うようになったのです。

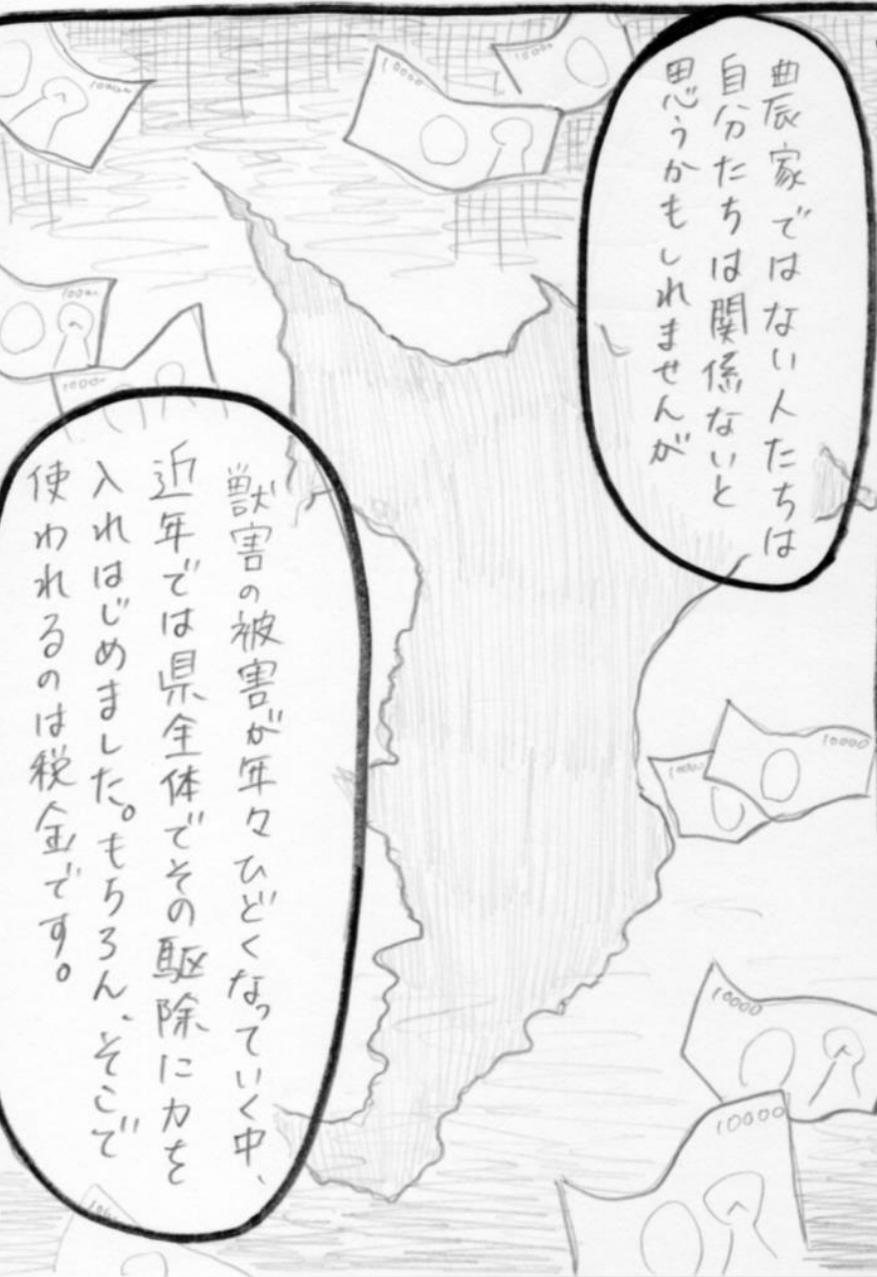


食べものよこせ
近よくな



ともとも、丁ノミシは昔、千葉にはあまり生息しておらず、狩猟者が自分たちの獲物を増やすためにイノミシを山へ放したといわれています。

増えろ
産めよ



獣害の被害が年々ひどくなっていく中、近年では県全体でその駆除にかき入れはじめました。もちろん、そこで使われるのは税金です。

曲辰家ではない人たちは自分たちは関係ないと思ってもかもしれませんが

人間が利益を得るためにしたことが、今、負の遺産となつて私たちが曲辰家を苦しめています。

せっかく実った稲がこぼれ落ちて...



獣の繁殖力はすごく
駆除したところで又分
その数はゼロにはならない
でしょう。



獣の数を減らしても山の環境を
改善しなくては結局同じことが
繰り返されるだけだと私たちは
思っています。

曲辰業以上に林業は
担い手がおらず、外国産の
安い木材が使われるのが
当たり前なの今。

この出口の見えなり現状で
いつか田んぼだけでなく
山もどうにかしなければと
私たちは考えています。

私たちの好きなこの里山と
曲辰村のある風景をずっと残して
いきたい。そんな思いで今日も
農作業に励んでいます。



ニヤリ



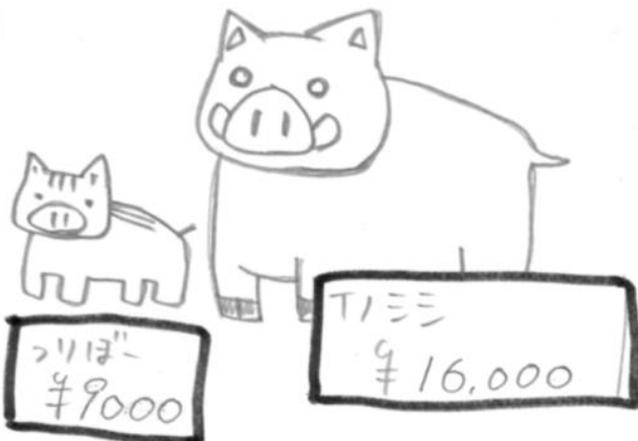
まあ、ここまでではちよと
重い話なのですがすがすべてが
悪いという訳ではありません

そして、我が曲辰園の啓太郎も
昨年狩猫免許をとり、
害獣を捕まえらるるよう
になりました



実は、曲辰作物に被害を
及ぼす獣^{ハクビシン}害獣を捕まえ
ると市からお金をもらえます。

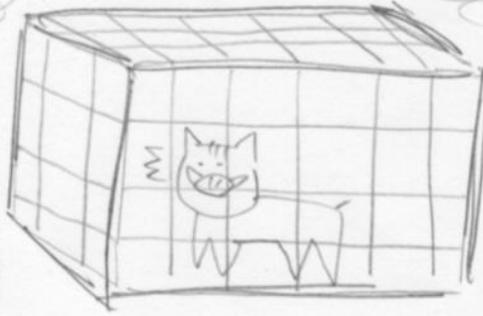
その値段は捕まえた害獣の
種類にもよるのですが、この
狩猫を業にしている方もいます。



てへほろ



竹箱罾



最近では竹箱罾とくくり罾というものでイノシシを捕まえるようになったが啓太郎

山はどうにかしなくちゃいけないけれどとりあえず自分と周りの曲辰家さんの作物を守るため、

でも基本的には動物大好きなので捕えたイノシシをしとめる際にはまたまた心が折れまくっている。よろこぶですが

イノシシ



またねー☆

害獣をとるためには狩猟免許だけではなく猫友会や駆除隊というものに入らなければいけなかったり

色々な田舎ならではの決まり事があったりするのですが、それはまた追々描いていきます。今回のマンガはこれまで☆また次回会いましょう。

